

今月のPICK UP企業

技術の分子が結合し、バイオの土台がつけられた

かつて「薬の街」と称されていた大阪。培われた化学技術は他業界でも活用され、府内の研究機関や企業は国内をリードする存在となっている。肉眼で見ることのできない分子の世界にも、ものづくりの動脈は流れているのだ。



昭和化工 株式会社

吹田市芳野町18-23 従業員数103名
<http://www.showakako.co.jp/>



食用キノコの正体は、 クエン酸の残りもん!

食品添加物や試薬、機能性材料など多岐に事業展開する同社は、培った化学・バイオ技術に常に工夫を加えてきた。同社のグループ会社では、焼酎醸造用のサツマイモの廃棄物やでんぷんからバイオ技術によって国内で唯一クエン酸を製造している。クエン酸の残りカスから生産した菌床を用いてシイタケなどのキノコ類を栽培・販売しており、残った菌床はサツマイモの肥料に使うなど無駄のない循環を形成し、地球にやさしい事業を創出し続けている。